

鹿児島県支部総会及び同窓会報告

鹿児島県支部では、例年 1 月に開催しております年次総会及び同窓会を、平成 23 年 1 月 15 日に開催しました。

支部長挨拶：(22 年度は宮崎県の口蹄疫に続き、鳥インフルエンザが本県出水市内観光平野の鶴 3 羽に発生があり、養鶏農家にも波及した。これにより、獣医師会等の会合は全て中止となった。防疫対策に追われる格好となり、九州地区連絡協議会も中止になり 23 年度、6 月に本県担当で鹿児島市内で開催予定です。併せて同窓会も実施するので出席の協力方を願います。)

事務局の会務報告に続き、大学からは濱村同窓会事務局長に出席していただき、学園内の本県からの入学生の在籍状況、獣医師及び臨床検査技師の国家試験の合格率、就職率等について詳しく説明していただきました。

最近、鹿児島県支部では在校生の父兄も含めた同窓会を開催しています。この春卒業予定の中川直子さん、中村広子さん両名に花束の贈呈がありました。昭和 19 年卒から平成 21 年卒まで、総勢 32 名の同窓会となりました。

懇親会は有菌一海様(昭和 19 年卒)の乾杯の音頭で始まりました。

今年は、司会の紹介による他己紹介等で、にぎやかな同窓会となりました。大口食検の大越弘人様(平成 20 年卒)とインターベットの滝口裕章様(平成 21 年卒)の参加があり、新しい卒業生の参加で、学生時代の思い出や仕事内容等、話し込んだりして、とても盛り上がりました。今後は麻布大学卒であれば、どの学科卒であっても参加できるような同窓会にしたいと思っています。

宴もたけなわ、いつしか時間の経つのも忘れて老若男女入り混じり、世代の違いを乗り越えて和気あいあいの内に同窓会をお開きにすることができました。お開きの音頭は、村山和哉様(昭和 45 年卒)の「一本締め」で、全員総立ちでお開きの運びとなりました。

まだまだ話し足らずに、それぞれが二次会場「じぞうかど」や夜の天文館へと繰り出して行きました。

(平成 23 年 1 月 31 日)

麻布大学同窓会鹿児島県支部